



FUKUSHI ASAKUCHI
福祉あさくち

社協だより vol.44

11
2017

あ たたかく
さ さえあって
く らせる
ち いきをめざして



民生委員100周年
— これからもあなたのそばで —



社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

平成
29
年度

社協会費へのご協力を

社協会費へのご協力は、福祉のまちづくり参加への一つです。「住民皆様が心豊かに暮らせる、ふれあい・助け合い・支えあいのあるまちづくり」のため、社協会費は地域福祉事業の大切な財源となっております。本年度も何卒多くのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費は年会費として

個人会費 101,000円

法人会費 103,000円~



浅口市社協の本所 「浅口市の地域福祉の拠点」

《皆様からいただいた社協会費の用途》

ふれあいきいきサロンへの活動助成	4,029,100円
在宅介護者への支援（介護手当支給、介護用具貸出、活動支援等）	1,830,000円
一人暮らし高齢者への支援（給食サービス、布団丸洗い等）	1,748,912円
障がい児・者の地域生活支援（共済制度加入支援、行事活動支援等）	283,100円
小地域支えあい活動支援（福祉委員活動、地区社協活動支援等）	884,000円
広報誌発行（福祉あさくち発行）	875,340円

自治会に未加入の世帯は、最寄りの本・支所にて納入をお願いします。

- 本所 TEL. 44-7744
- 金光支所 TEL. 42-7308
- 寄島支所 TEL. 54-3317



会員章を玄関に貼りましょう。

表紙のこぼし

民生委員制度100周年を機に、民生児童委員の活動を知ってもらうことを目的に鴨方中学校であいさつ運動が行われました。

この日は鴨方地区の民生児童委員が、登校する生徒に声をかけていました。金光地区、寄島地区でも100周年の啓発運動が行われました。



民生委員制度 100周年

あなたのまちの相談相手

地域に暮らす身近な相談相手として、医療や介護、子育ての不安など、住民のさまざまな相談に応じていきます。そしてその課題が解決できるよう、行政機関をはじめ、必要な支援への「つなぎ役」になります。

また民生委員・児童委員には民生委員法に定められた守秘義務があり、相談内容が他の人に伝わることはありません。



グループでの研修（金光町）

民生委員は岡山が発祥の地

民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとします。当時の笠井信一知事は「済世顧問」を任命し、生活困窮者の救済にあたられました。翌大正7年には大阪府で「方面委員制度」が発足し、全国へと広まりました。戦後、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められました。岡山城跡には笠井信一の銅像が建てられています。



定例会のようす（寄島町）

民生委員の活動

- ① 住民の生活状態を必要に応じて把握しておくこと
- ② 生活に関する相談に応じ、助言・援助を行うこと
- ③ 福祉サービスを利用するための情報提供を行うこと
- ④ 社会福祉事業者と連携し、その活動を支援すること
- ⑤ 福祉事務所や関係行政機関の業務に協力すること
- ⑥ その他、住民の福祉の増進のための活動を行うこと

児童委員・主任児童委員の活動

- ① 児童及び妊産婦の生活環境の状況を把握すること
- ② 児童及び妊産婦に必要な援助及び指導を行うこと
- ③ 児童及び妊産婦に必要な事業実施者との連携を図ること
- ④ 福祉事務所の専門職の行う職務に協力すること
- ⑤ その他、児童及び妊産婦の福祉の増進のための活動を行うこと

地域ぐるみで 長寿を祝う



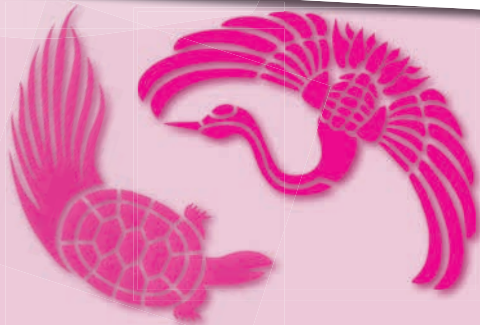
福永宮東地区(金光町)
輪投げで盛り上がりました。



石井地区(鴨方町)
備中神楽で福をいただきました。



鳩ヶ丘地区(鴨方町)
子どもたちの和太鼓演奏。
飛び入りコーナーもありました。



味工房 えん

【営業時間】平日・土 / 11:00～14:30
17:30～24:00 (L.O. 23:30)
日・祝 / 11:00～14:30
17:30～22:00 (L.O. 21:30)

【定休日】月曜日
※月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日を定休日とさせていただきます。

会合、寄り合い、
大小宴会、法事等
ご予約承ります！

【宴会最大～70名】
ご予算や人数に合わせて
お料理内容をご提案致します。

おいしい
☎ 0865-54-0141
FAX 0865-54-0140
〒719-0243
岡山県浅口市鴨方町鴨方1083-6

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。



敬老会 カメラルポ



大内地区(鴨方町)
栗山市長がお祝いに駆けつけてくれました。



青佐地区(寄島町)
岡山大学の落語研究会のお笑いを一席。



須恵地区(金光町)
二胡の演奏や南京玉すだれなど盛りたくさんの会でした。



中安倉地区(寄島町)
続けてがんばろう「お元気体操」



中四地区(鴨方町)
マジックショーに皆さん注目しています。

敬老会の実施状況

敬老会開催地区 98地区 (内容を列挙します)

式典

演芸 (重複回答) 舞踊、歌謡ショー、手品、どじょうすくい、落語、大正琴、子ども会や保育園児の踊りなど、腹話術、漫談、演劇、バンド演奏、フラダンス、和太鼓、銭太鼓、ハーモニカ、紙芝居など

レクリエーション ビンゴゲーム、合唱、講話、カラオケ、お菓子づくり、似顔絵、くじ引き、じゃんけん大会、サロン、健康体操、スカットボール、ポケットボールなど

会食

記念品贈呈 ※こどもからの手紙をおくった地区もあります。



サロン井戸端会議
ボランティアさん同士の情報交換で、活動のヒントを。



サロンレク玉手箱
レク協会 須増先生による笑いの絶えないレク紹介

改めて… ふれあいサロンってなに??

そもそもサロンとは…

サロンは「地域住民によるつながりづくりのきっかけの場」です。参加するみんなが、ともに楽しい時間を過ごしなが
ら「地域の一員」としての思いを高め、
地域でのつながり
づくり、助け合い
づくりのきっかけ
にもなります。



毎年恒例となりました「ふれあいサロン博覧会2017」を、9月26日(火)、浅口市健康福祉センターで開催しました。
浅口市内では、現在88地区でふれあいサロン活動が行われ、各サロンともそれぞれに趣向を凝らしたユニークな活動を行っています。
「ふれあいサロン博覧会」は、毎回テーマを設け、プログラムのヒントになる体験コーナーやお使いただけのレクリエーション用品の展示などを通じてサロン活動を支援するために平成25年から開催し、今回で5回目となりました。

今年のテーマは「レクリエーションを楽しもう」 ふれあいサロン博覧会2017 開催



レクリエーション大会
実力より運☆ スカットボール大会

何のためにふれあいサロンを…

- ・「寝たきり知らず、認知症知らず」でいきいきと過ごすために
- ・人と会って話をし、大声で笑うこと
- ・出かけて行って仲間と楽しい時間を過ごすこと
- ・定期的に外出する機会があること



レク用品紹介
珍しいレク用品もたくさんあります

ふれあいサロンに参加する人は…

- ・高齢者や障がい者、子育て中の親子など、地域の誰でもが参加できる活動です。
- ・最近あまり外出しない人
- ・近所づきあいがない人

が重要です。これらのことが気軽にできるのがふれあいサロンです。

ふれあいサロンの効果は…

- ・一人暮らしまたは日中一人で過ごす人
- ・寝たきりや認知症になりたくない人
- ・特に地域で孤立、出て行きにくい「来させたい人」をぜひサロンに誘ってあげてください。

*心に「ハリ」が持てるように

外出の機会の少ない高齢者などにとって、サロンに行くことが適度な刺激となり「心のハリ」が持てるようになります。

*住民同士のつながりづくり

サロンを通じての新たな関係づくりや地域での一体感が強まります。また、災害時の避難支援などもつながりが強いほど円滑に進みます。

*情報交換ができる場に

民生委員さんや福祉委員さんも参加する中で、悩みごとを相談したり行政や社協などへつなげたりできます。また、詐欺や悪質商法などにも、地域でお互いに声をかけあい、注意を深めることもできます。

*見守り・声かけの機会に

サロンの場が一人暮らしなどの方への見守り・声かけの機会になります。サロンでのつながりが普段の見守り・声かけ活動を充実させ、ちょっとした変化への気づきや早期発見につながります。



赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の昭和22年に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、その後も一貫して、地域に密着した社会福祉の推進ために活用されてきました。

そして70年たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。



赤い羽根共同募金



キラ！赤い羽根



大好評!! 募金バッチももたろうシリーズ

募金バッチ 1個 500円

【お求めは浅口市社会福祉協議会本所・各支所へ】



今年はキジ



2016年サル
(在庫あります)



2018年
イヌ



2019年
ももたろう



社福) 浅口市社会福祉協議会 浅口市共同募金委員会

赤い羽根

検索

身体障害者手帳を交付されている方へ

身体障害者の会へ障害者の知人をさそって入会して下さい

こんな活動をしています

- 障害者の福祉厚生の増進にかかわる活動
- 研修旅行・親睦活動の実施
27年：玉野渋川海岸 28年：藤ヶ鳴温泉 29年：神石高原へ研修旅行
- 他団体との交流会実施
浅口連合会で、カラオケ・ビンゴゲーム大会等
- 障害者のかかわる各種の会・大会等に参加
- 部活動の実施
カラオケ部・女性部（手芸等） 各月1回開催



☞ 浅口市社会福祉協議会本所にお申し込み下さい

☞ 身体障害者の会 陶守 TEL 0865-44-8451

皆さんと助け合って活動しています

21世紀を「福祉の世紀」へ——
赤い羽根募金は「たすけあいの心」を育てています。

赤い羽根の歴史

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の昭和22年に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃をうけた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、社会福祉事業法という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

赤い羽根のしくみ

募金の約70%は、自分の町を良くするために使われています。

誰かのためかと思つて募金をしたら、自分たちの町のための、募金でもありません。町のみならず集めた募金は、自分の町を良くする活動に

使われています。

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています

共同募金の助成は、高齢者サロンの運営や点訳ボランティアなど草の根のボランティア活動の費用から、障がい者作業所の車の整備・社会福祉施設の改修まで、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。

災害にも共同募金は使われています

大規模な災害が起こった際のそなえとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

それゆけ! ボランティア

傾聴ボランティア 「“Hot, ダンボの会”」の巻

傾聴って何!?…だれにでも出来る『相手の話を聴くこと』です。

私たち「“Hot, ダンボの会”」は、人の心に寄り添う傾聴をカウンセリングの手法を用いて行っています。現代は受難時代。お年寄りから子どもまで、心の安定が求められています。心に寄り添って聴いてもらうだけで、

<ホッとしたり>

<肩の荷がおりたり>

<元気を取り戻せたり>…。

聴くだけで人は変わるのです!!

私たちは傾聴の勉強をしながら、市内の福祉施設等を中心に実践活動を進めています。

相手の【心】に寄り添うボランティア、それ



活動に役立てている参考文献

が傾聴です。

子どもをお連れのお母さん!子どもとのコミュニケーションにもきっと役立ちます。興味のある方、ぜひ一度参加してみませんか!?



一人ひとりの野球感性 を伸ばしたい

—笑顔と挨拶と感謝を忘れずに—

堤 尚彦さん

(おかやま山陽高校 硬式野球部監督)



若き日にアフリカで 野球の普及活動

堤監督は東北福祉大を卒業後、青年海外協力隊としてアフリカへ渡り、野球の普及活動に努めてこられました。ガーナやインドネシアのナショナルチームの監督やコーチを務められ、シドニー五輪予選や、アテネ五輪予選へも参加された経歴をお持ちです。その後、スポーツマネジメントの会社に勤務、海外経験を活かしてビジネスマンとしても活躍され、おかやま山陽高校へは2006年に硬式野球部の監督として赴任して来られました。

将棋やジャグリングを 練習に取り入れる

「高校生らしさを大切にしている。礼儀正しさや規律を守ることがもちろんだけれども、当たり前のことが当たり前に行える事が大事。動きについても、自然体で滑らかに動ける体や技術を身に付けさせたい」と、マット運動、フットサル、綱登りなど、野球以外の動作で体を鍛える指導もされています。

中には将棋やジャグリングといった独特の練習も。
「みんなが中学時代に活躍してきた子供たちばかりではない。子供たちのスイッチを入れるためには、様々な動

きを体験させて自然にコツを掴むことが大切」と。また、監督の外国での経験から、言葉での指導だけでなく、「見て真似て学ぶ」ことも大切とおっしゃられています。様々な創意工夫をされながら、個々の野球感性を伸ばす指導に力を注がれています。

ボランティアで地域に感謝

今年度の甲子園初出場が特に目立つ硬式野球部ですが、部外活動での活躍も目覚ましく、様々なボランティア活動も熱心に参加をされています。鴨方駅でのあいさつ運動や清掃活動、寿光園での年末の餅つきなど、「今までお世話になった皆さんへの恩返しです。これからも長く続けていきたい」と地域での奉仕活動へも野球部の生徒が積極的に取り組んでいます。

目標は世界に野球を広めること

野球をやりたくても道具がないという現実を目の当たりにした経験から、野球部では2011年からJICAを通じて中古の野球道具を送るという支援を続けているそうです。「すべては世界中に野球を広めたいという目的があるからです。甲子園も一つの手段とも言えるでしょう。注目してもらえればそれだけ野球の普及につながる」と大きな目標を語って下さいました。

●リフォーム ●バリアフリー ●水廻り
●内装・外装 ●お家の修理・メンテナンス

新事務所オープン! お気軽にお立ち寄り下さい

浅口のリフォーム屋さんです

小野工房

〒719-0243 浅口市鴨方町鴨方 1164-4
TEL.0865-44-6090

http://www.onokoubou.com

小さな工事でもご相談ください。

“福祉あさくちを見た”と言うだけで会員価格に致します!

デジカメプリント デジカメプリント

激安王 29円

フィルム現像できます 携帯・ネットで注文OK!

●証明写真500円 ●フォトショップサンタ

岡山県経営革新法承認企業

天満屋ハッピータウン鴨方店

プリントショップ サンタ

浅口市鴨方町六条院中 2128-1
営業時間 9:00~20:00

TEL.0865-44-9152 年中無休

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。

あさくち権利擁護推進センターだより

ほっと・ネット通信



権利擁護と福祉

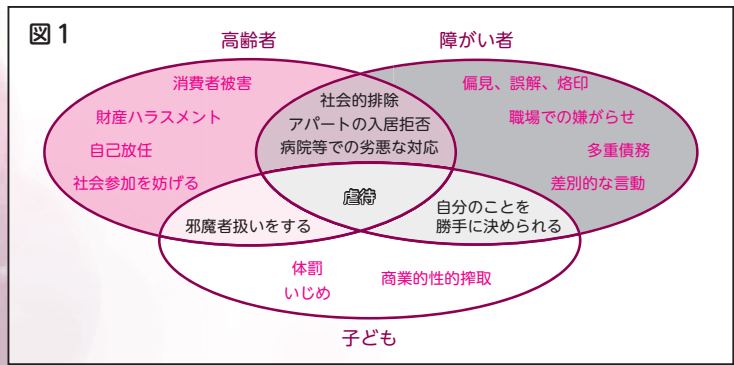
権利擁護とは何かと尋ねると、様々な答えが返ってきます。虐待や成年後見制度、人権擁護等と答える方もいれば、法律家の仕事と答える方もいます。人が生まれながらに持っている「権利」を「護る」意味では、どの回答も間違いではありません。一方で、福祉とは何かと尋ねると、「高齢者や障がいのある人等のいわゆる社会的弱者の人を助けてあげる」という考えが思い浮かぶ方もいるかもしれません。こちらでも間違いではありませんが、漢字で「福」も「祉」もどちらも「幸せ」の意味になり、「誰もが幸せ」や「人の幸せを支える」となります。つまり、今日では「権利擁護」も「福祉」も、広い意味で「人の幸せ」や「自分らしく生きる」などと用いられています。

しかし、情報化社会による生活の多様性やスマートフォンの普及による家族関係の弱体化、長引く経済的不況など、時代が目まぐるしく変化する現代社会において、新たな生活課題（生きづらさなど）や福祉課題が浮き彫りになってきています。例えば、経済的困窮世帯、ひきこもり、不登校、健康に影響を及ぼすゴミ屋敷、地域からの孤立、介護殺人、老々介護など、これまで福祉施策では対応してこなかった課題が表面化しています。

誰もが病気による後遺症や貧困などに陥る恐れがあるなかで、どのような状態になっても、自分自身で選択し、自分の夢を実現していきたいと考えるのではないのでしょうか。しかし、認知症高齢者や障がい者、子どもなどは、十分な判断力がない、または弱い立場にある方は、「権利」が侵害や排除されやすい環境下におかれやすくなります（図1）。

あさくち権利擁護センターでは、誰もが「いつまでも自分らしく」生きることを応援しています。例えば、図1のようなことでお困りのことがありましたら、電話又は来所でご相談をお受けしています。生活課題は複雑に他の課題とも絡み合い、解決を困難にしている場合があります。すぐに解決はできないことが多いですが、当センターでは、福祉専門職による相談、相談内容により専門機関のご紹介、行政と連携した対応などにより解決に向けお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談ください。

相談先：あさくち権利擁護推進センター
(0865-44-7744)



かけがえのない人 最期のありがとう

 **井笠広域会館** ■笠岡ホール ■鴨方ホール
☎ **0120-65-1880**

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。



車いす、段差が大変だ（金光竹小学校）

好評です
出前福祉講座
優しい心を育てます

浅口社協では、ボランティアさんのご協力のもと、浅口市内の小中学校へ出向き、出前福祉講座を行っています。【車いす・点字・手話】などを体験する中で、技術の習得はもちろん、手助けが必要な方への声かけやサポートの仕方を考えたり、コミュニケーションを図ったりすることの大切さを伝えています。



「だいじょうぶですか」声かけも大事（鴨方中学校）

感想

困っている人がいたら声をかけたい（鴨方中学校 3年生）

アイマスク体験では、初めて私の祖母の感覚を体験できました。私たち家族はいつも手を貸す立場ですが、実際にアイマスクをして歩いてみて、見えない状態で歩くということは予想もしない恐怖感があるのだと感じました。困っている人がいたら、すすんで声をかけて手助けしようと思います。

体の不自由な方の大変さ、自分のありがたさ（鴨方中学校 3年生）

話をただ聞くのと、実際に体験してみるのとでは、まったく感じ方が違いました。自分ひとりでは車いすが進まなかったり、アイマスクをして歩くときは、隣の人の声が唯一の頼りでした。この体験で体の不自由な方の大変さ、そして普通に暮らせていることのありがたさに気づくことができました。

車いすに乗っている人がいたら助けたい（金光竹小学校 4年生）

車いす体験をしてみて、押す時は思ったよりも力を使うし、乗っていたらちょっとタイヤが浮いただけでも怖いと思いました。車いすに乗っている人の大変さが分かったので、困っている人を見つけたら助けたいです。

声かけの大切さがわかった（金光竹小学校 4年生）

車いすに乗っている人へは、分かりやすい言葉で詳しく声をかけてあげることが大切だと思いました。自分でも体験してみて、恐怖や不安を感じたので、困っている人がいたらお手伝いをしたいです。



アイマスク体験（金光竹小学校）

●リフォーム ●バリアフリー ●水廻り
●内装・外装 ●お家の修理・メンテナンス

小さな工事でもご相談ください。

新事務所オープン！お気軽にお立ち寄り下さい

浅口のリフォーム屋さんです

小野工房

TEL.719-0243 浅口市鴨方町鴨方 1164-4
TEL.0865-44-6090

<http://www.onokoubou.com>

本格 杵つき餅

お米の持込も可能です

ぼた餅 赤飯 法要餅 祝餅 等

友原餅店

TEL.0865-42-2216
浅口市金光町占見新田 361

私たちは浅口市社会福祉協議会の活動を応援しています。



体の弱かった少年時代

寄島の青佐で生まれ育ちました。父は町議会議員を務めていましたが30半ばで亡くなり、弟たちも幼くして亡くなりました。岡大の看護学科を出て看護婦をしていた優秀な姉もいましたが19歳の若さで亡くなりました。私自身も体が弱く、小児喘息を患っていて母の従妹からは小さい頃は長く生きられないかもしれないと思っていたと聞かされました。中耳炎もひどく、看護婦の姉からはほっておくと脳膜炎になると言われるほどでした。物心ついてからは少しずつ体が強くなり元気になっていきました。

いろいろな仕事を経験

14の暮れから終戦まで神戸製鋼に徴用で鋳物の型を作る仕事をしていました。戦後、夏は塩田で働き、冬は相生の酒造で働くことを繰り返していました。当時はそれが珍しくなくて。22の頃からは倉敷でタバコの容器を作る下請け会社で20年働きました。タバコを貯蔵する大きなツボのようなもので大人が5～6人は入れるようなものです。40過ぎからは富岡の中国クリーナーで、化学工場の装置を清掃する仕事に携わりました。コンデンサやパイプをキレイにする仕事です。私は出張しないという約束で入ったのですが、所長が代わって方針が変わるといろいろなところに行きました。近くは水島や福山が主なのですが、岩国や松山、一番遠くは別府まで。

たくさんのお仕事を体験してきたことはいい思い出です。

生花との出会い

生花は趣味で始めました。19歳で習い始め、27歳で先生になり80歳まで先生を続けました。昔、寄島に高等女学校があったのですが、その今でいう文化祭のようなものに母と一緒に見学した時に初めて生花に出会いました。その時、このぐらいのものなら自分でも作れるんじゃないか？と思ったのが最初です。

岡山の天満屋の葦川会館や、岡山の農協会館、倉敷の新溪園…いろんな所で花を活けてきました。中でも後楽園の延養亭でさせてもらった時が一番の思い出です。生花はなかなか難しいもので、萎れているものは次の日に同じ花を持って行って差し替えたり管理には気を遣います。しまいのへんは教え子の生徒に頼まれて活けていたものもありますが、ここをこんな風に活けたらキレイだなんて考えるのが楽しく続けてきました。

師匠からは「花材は足で集めろ」と教えられていたので近くの野山はほとんど歩きました。大変でしたが、生徒さんの負担も軽くなるし、自然な形の生花が出来て良かったです。

また生花と一緒に県の菊花協会のほうもしていたので、今でも菊は作っています。最近は皆さんと一緒に毎日グラウンドゴルフをして過ごすのと、年に1回文化祭に菊を出展するのを生きがいにしていきます。最初は大勢いた出展者も少なくなってきましたが、私が元気なうちはずっと続けていきたいと思っています。

受賞おめでとうございます

◆10月5日岡山県総合福祉大会において、社会福祉事業に功績のあった方々が表彰を受けられました。

岡山県母子寡婦福祉連合会理事長表彰

・西山 貴志子 (鴨方町)

岡山県身体障害者福祉連合会会長表彰

・山下 教子 (金光町)

岡山県手をつなぐ育成会会長表彰

・太田 卓海 (鴨方町)

岡山県老人クラブ連合会会長表彰

・塚村 宏而 (金光町)
 ・中野 伯江 (金光町)
 ・岸 義照 (鴨方町)
 ・岡田 賢己 (寄島町)
 ・三宅 英湖 (寄島町)
 ・日原 長寿会 (鴨方町)
 ・谷口 常磐会 (鴨方町)

歳末見舞金支給のお知らせ

「歳末たすけあい募金」配分

- 対象者
- ① 身体障がい者手帳 1・2級 所持者
 - ② 療育手帳 A・B 所持者
 - ③ 精神障がい者保健福祉手帳 1・2級 所持者
 - ④ 義務教育以下のお子さんを一人親で養育している方


①～④の方で次の条件にすべて該当する方

- ◎ 市民税に所得割がかかっていない世帯
- ◎ 市内に住所を有する方
- ◎ 在宅で生活されている方

申請手続き

- ・所定の申請用紙等が社協本所・支所にあります。
- ・申請時には、印鑑及び所持する手帳、振込を希望する通帳をご持参ください。

締切り
11月30日(木)
厳守



サロンええところ 写真コンテスト 作品募集

来年のサロン博覧会に向けて、各地区の「ふれあいいきいきサロン」の写真を集めます。
 「すてきな写真」「人気者」「頑張るボランティアさん」「名物行事」などふれあいサロンにまつわる写真であればどんなものでも構いません。
 地域にいらっしゃる名カメラマンに手伝ってもらってもOK!!
 みなさんの地区の「サロン自慢」をしませんか。

募集期間

テーマ

賞

平成 30 年 6 月～8 月末

来年のサロン博覧会で展示をします。
今から写真をたくさん撮っておいてください!!

「うちのサロンのええところ」「サロン自慢」
応募の方法など、詳しくは各地区サロンの代表者の方へ募集のご案内をお送りします。

- 最優秀賞 (1点)
- 優秀賞 (2点)
- 社協会長賞 (1点)
- 入選 (10点)

[主催] FA 社会福祉法人浅口市社会福祉協議会

篤志御礼

(平成29年9月30日まで)

ご寄付ありがとうございます。地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 加山 臨さん(占見新田)より
亡父 節夫さんの香典返し
- 問田 艶子さん(下竹)より
亡夫 哲男さんの香典返し
- 梶井 久恵さん(占見)より
亡母 三宅 照子さんの香典返し

鴨方町

- 横山 悟さん(六条院中)より
亡父 眞さんの香典返し
- 田辺 二三子さん(益坂)より
亡夫 良伸さんの香典返し
- 中務 隆治さん(六条院中)より
亡母 百合子さんの香典返し
- 永原 晃二郎さん(鴨方)より
亡父 康男さんの香典返し
- 渡邊 宏さん(鴨方)より
亡母 路子さんの香典返し
- 笠行 達男さん(みどりヶ丘)より
亡父 年明さんの香典返し
- 横山 博さん(小坂西)より
亡父 晃さんの香典返し

- 秋田 裕さん(鴨方)より
亡父 昌男さんの香典返し
- 横田 聰慧さん(益坂)より
亡夫 正尚さんの香典返し
- 横山 裕則さん(益坂)より
亡父 昭三さんの香典返し
- 柚木 雅之さん(六条院中)より
亡妻 喜代子(のり子)さんの香典返し

寄島町

- 中野 来さん(東安倉)より
亡義父 笠原 輝彦さんの香典返し
- 西島 紀男さん(青佐)より
亡母 幸枝さんの香典返し

短期、長期に貸し出します。

車いすバンク

車いすのことならおまかせ



申し込み・お問い合わせ先

本所 ☎0865-44-7744
金光支所 ☎0865-42-7308
寄島支所 ☎0865-54-3317

- 柏原 秀昭さん(中安倉)より
亡妻 馨さんの香典返し
- 高瀬 浩一さん(中安倉)より
亡父 忠さんの香典返し

市外

- 渡辺 良作さん(倉敷市)より
亡父 雅允さんの香典返し

福あさボイス

クイズの答えとともに「福祉あさくち」の感想をお寄せください

支え合いサポーターの記事が表紙に出ていました。利用者の方もサポーターのお二人もとてもいい顔をされています。「ありがたいことです」と言う言葉が身にしみます。

(鴨方町 Sさん)

災害ボラ講演会で法政大学の小寺先生のお話、大変参考になりました。防災・減災を焦点にしたお話をもう一度聞きたいと思えます。ぜひ企画してほしいと思います。

(金光町 Nさん)

「うちのボタン」の容器の中の記載事項、時には確認してほしいものです。私も福祉委員をしていたので、年に1度の確認をお願いしていました。

(寄島町 Kさん)

クイズ 探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が6か所あります。この6文字をならべかえて、言葉をつくらせて下さい。

◆ヒント まわって遊びます。

◆締め切り 12月25日(月) 消印有効

◆前回のこたえ かとりせんじゅう

でした。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、

〒719-0243

鴨方町鴨方73番地

浅口市社会福祉協議会まで。

正解者の中から抽選で20名に

記念品贈呈。



絵本の里が紡ぐ、心優しい人々の無償の愛。
 広大な大地にしみわたる親子の絆。

無料

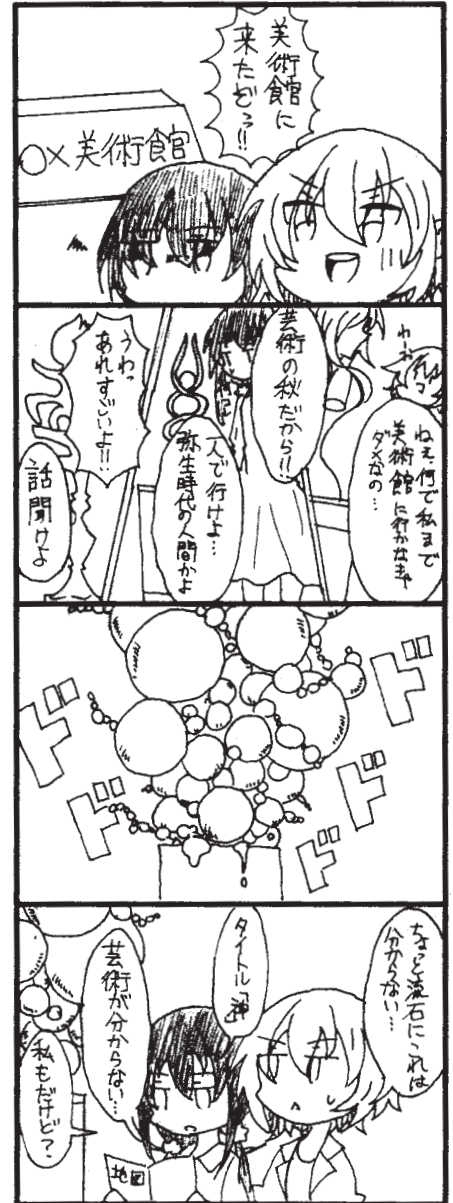
どなたでも
 ご覧いただけます

とき：12月3日(日) 13：30～15：30
 ところ：ふれあい交流館サンパレア
 (寄島町)

出演：大地康雄、佐藤B作、若村麻由美、中井貴恵 他

福あさ 「無題」
4コマ劇場

提供：鴨方高校マンガ同好会
 画：イッチー



I LOVE ボランティア作戦

アイ♥ボランティア作戦は、ボランティア活動を身近に感じてもらうようと、毎年市内で清掃活動を行っています。今年で5回目となります。

今年は、鴨方町の天草公園一体の清掃活動をおこないます。「街もみんなの心」もキレイにしましょう。

日時：平成29年11月23日(祝) 10時～11時
 場所：鴨方町 天草公園周辺 (集合は野球場)
 参加者：どなたでも参加できます



社協だより

社会福祉法人
浅口市社会福祉協議会

- 本所 浅口市鴨方町鴨方73
TEL 0865-44-7744
- 金光支所 浅口市金光町占見新田751
TEL 0865-42-7308
- 寄島支所 浅口市寄島町16010
TEL 0865-54-3317
- カ二丸の家 浅口市寄島町16089-17
TEL 0865-54-3113